

建築技術性能認証（せん断補強筋の溶接継手）
認証取得後の変更時注意事項

2021.2

（一財）日本建築総合試験所 性能評定課

最近、建築技術性能認証の更新時に、溶接条件等を変更しながら、変更に対する適正な対応をしていない案件が発見されました。

建築技術性能認証の取得後、以下に示す溶接に関する変更等が生じる場合には、認証された「溶接試験要領書」の規定に従い、変更後の溶接条件が適正であることを各種試験により確認してください。変更後の溶接条件による製造は、溶接条件が適正であることを確認した後、行ってください。

また、更新時には変更等が生じた事実を報告し、溶接条件確認のために行った各種試験結果を提示する必要があります。更新時に試験結果が確認できない場合は、既認証を失効させることがありますので、適正な運用に努めてください。

○確認を要する試験*

1) 認証に含まれる溶接機種種の溶接機追加

A 級継手確認試験、溶接信頼性確認試験を行い、その結果に基づいて溶接条件が適正であることを確認してください。

ただし、高強度鉄筋の場合は、検知試験、A 級継手確認試験、溶接信頼性確認試験により確認してください。

2) 基準（標準）溶接条件の変更

検知試験、A 級継手確認試験、溶接信頼性確認試験を行い、その結果に基づいて溶接条件が適正であることを確認してください。

※せん断補強筋の溶接継手性能認証基準（3.5 更新）

以上

この件に関する問い合わせ先

（一財）日本建築総合試験所 性能評定課 野村

TEL：06-6966-7600 e-mail：hyotei2@gbrc.or.jp